

令和元年6月14日

次世代のモビリティサービスに取り組むため、新たな担当課

『新交通サービス推進課の新設について』

三重交通株式会社(取締役社長:竹谷賢一、本社:津市中央1番1号)は、自動運転やMaaS(Mobility as a Service「マース」)などAI、ICTを活用した次世代のモビリティサービスの実現及び環境負荷の少ない電気バスなどの新たなバスの導入を目指し、企画部(バス)内に「新交通サービス推進課」を下記のとおり新設いたしますので、お知らせいたします。

記

1. 目的

現在、自動車業界は100年に一度といわれる大変革期を迎えており、旅客輸送分野においては、自動運転バスやAI・ICTを活用したオンデマンド交通、ライドシェア、MaaSなどの実用化を目指し、実証実験が各地で行われています。また、東京オリンピックを契機に燃料電池バスなどの普及が進むことが予想されています。

一方、地方では労働力不足や過疎化の進む地域での交通手段の確保が大きな課題となっており、新たな技術の活用は輸送効率の向上及び地域の移動サービスの維持に有効な手段となる可能性があります。

については、これらについて総合的に調査・研究を行うとともに各種取組みに積極的に関わり、実用化を図ることを目的として「新交通サービス推進課」を設置いたします。

2. 設置日

令和元年7月1日

以上

【本資料の問合せ先】 三重交通株式会社 企画部

TEL 059-229-5505

